

# NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2012年10月20日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2010000079"/>	整理番号 <input type="text" value="11565"/>	担当者 <input type="text" value="松岡 義人"/>
表 題	<input type="text" value="低揮発性二酸化炭素吸収液およびガス分離方法"/>		
技術分野	<input type="text" value="化学・薬品"/>	<input type="text" value="環境"/>	<input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="ガス吸収液及びガス吸収プラント"/>		
目 的	<input type="text" value="火力発電所や石油化学プラントなど温室効果ガス大規模固定発生源からのガス成分分離回収、特に、高圧条件の混合ガスから二酸化炭素などの酸性ガスを物理吸収法により効率的に分離回収するための新規ガス吸収液とガス分離方法について提供する。"/>		
技術概要	<input type="text" value="アミン類からなる化学吸収液では、吸収液再生に蒸留が必要なため、消費エネルギーコストに問題がある。一方、従来の物理吸収液であるSelexol液やRectisol液は、二酸化炭素吸収量も優れるが、吸収液を冷却してガス吸収量を増加させているため、余分な冷却エネルギーが必要である。グライム類は、コスト的に比較的安価で、Selexol液と比べて二酸化炭素吸収量も優れるが、揮発性が大きくなるなどの課題がある。本発明では、安価なグライム類の溶剤に、リチウムビス(トリフルオロメタンスルホニル)アミドなどの塩類を添加することで揮発性を低下させ、二酸化炭素吸収量を増加もしくは保持することで、ガス分離回収効率を向上できる。本技術は、圧力操作のみの物理吸収であり、吸収液再生に蒸留が不要になるため、消費エネルギーを大幅に削減できるだけでなく、プロセス全般に渡り高効率化を達成することができる。"/>		

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp